

研究に関する公開情報

公立陶生病院では、以下にご説明する研究を行うことを計画しています。この研究では通常の診療で得られた過去の情報を使用します。本研究に診療情報を使用されることを望まない方は、下のお問い合わせ先に申し出ただけでしたら、その方の診療情報を収集することはありません。お申し出になられても、診療を受ける上で不利益を被ることはありませんのでご安心ください。また、この研究は当院のみで実施されます。

[研究課題名] 尿路感染症の初期選択抗菌薬が予後に与える影響に関する検討

[当院研究責任者] 部署名 感染症内科 氏名 武藤 義和 / 上柳 祐也

[研究の背景] 尿路感染症の初期抗菌薬選択が患者予後に対してどのように影響し、どのような因子がある患者さんでどのような薬剤選択が推奨されるかを評価するものです

[研究の目的] 尿路感染症で入院される方に対して最初に用いられる抗菌薬は、一般的な尿路感染症で頻出される菌体を対象にしたものでありますが、近年耐性菌が増加してきており、初期選択抗菌薬ではカバーしきれない場合があります。一方できちんとした医療を行う事により初期抗菌薬が当たってなくても、菌が判明したタイミングで速やかに変更するなど治療予後を変えないで済む可能性もあり、どのような患者さんにどのような抗菌薬で開始すればいいのかを評価する検討を行います

■ 研究の対象となる方

2020年1月から2022年12月に公立陶生病院に尿路感染症で入院された成人の方に対して、治療経過などを後ろ向きに調査させていただきます。

■ ご協力頂く内容

上記期間に診療上得られた検査データと、診療録に記録された診療情報(年齢、性別、身体所見、症状、採血検査、画像検査、生活環境、治療内容、生理検査結果、治療経過など)を研究に使用させていただきます。それらの使用に際しては、研究代表者がこれを管理し、政府が定めた倫理指針に則って個人情報厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されることはございません。診療以外での採血など、患者さんに新たにご負担頂くことはございません。

■ 個人情報に関して

あなたのご希望により、この研究に参加して下さった方々の個人情報の保護や、この研究の独創性の確保に支障がない範囲で、この研究の計画書や研究の方法に関する資料をご覧いただくことや文書でお渡しすることができます。また、本研究で収集させて頂いたご自身の情報を当院の規定に則った形でご覧頂くことも出来ます。ご希望される方は、どうぞ記載のお問合せ先にお申し出ください。

■ お問い合わせ先 公立陶生病院 電話番号 0561-82-5101

研究代表者 感染症内科 武藤 義和